

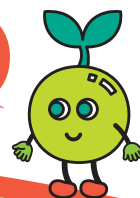
No.111

Winter 2025



JA東京あおば HP

2025年
冬号



あおば

【特集】

新年のごあいさつ

第18回練馬大根引っこ抜き競技大会開催しました

令和6年度これまでの取り組み経過報告

〈大人気〉
きじまりゅうた あおばの台所



01 NEWS

令和6年度
農業関係各功労章受章

令和6年度農業関係各功労受章者が決定いたしました。受章者は左記のとおりです。受章された皆さま、おめでとうございます。

◇受章者一覧(敬称略)

(公財)内田農業振興会 緑綬功労章

酒井 利博
(第19支部)

(公財)内田農業振興会 紫綬功労章

高橋 隆
(常勤監事)
新堀 桂三
(常務理事)

東京都農業感謝

練馬区民表彰 農林水産功労

内田 喜一
(北一支部)



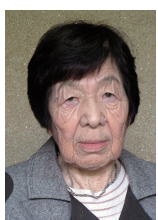
本橋 喜一

(土支田第2支部)



吉田 静栄

(田柄第2支部)



杉浦 政雄

(谷原2・2支部)



加藤 直正

(第10区支部)



関口 豊子

(第23区支部)



高橋 正悦

(第3区支部)



東京都農業会議 農業功労者表彰

田中 はつ江

(大門第2支部)



新年あけまして
おめでとうございます

代表理事組合長 久保 秀一



組合員ならびに地域の皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

昨年中は当JAの各事業ならびに活動に對しまして、ひとかたならぬご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月1日に発生した令和6年能登半島地震ならびに9月の豪雨災害で石川県能登地方を中心に大きな被害をもたらしました。現在でも、復興に向け厳しい生活を余儀なくされており、被災されたすべての方に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日でも早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

3月には、日本銀行がマイナス金利政策を含む異次元緩和の解除を決め、17年ぶりの利上げに踏み切ること、「金利ある世界」に回帰する等、30年にわたる停滞からの脱却に向けた転換点となりました。

また、5月には、農政の憲法と言われる「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、中長期的な農業政策の方向性が示されました。食料安全保障の確保が法律の目的に加えられ、わが国の農業にとって歴史的な転換期を迎えたといえるでしょう。

一方で、長引くウクライナや中東情勢をはじめ、世界的な物価高、全国各地で頻発する自然

災害などの影響により、「食」と「農」を取り巻く環境は一段と厳しい状況になっております。

このようななか、当JAでは、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の最終年度として、組合員との対話運動を基軸とし、日常的な訪問活動はもちろんのこと、支部長会議・組合員座談会・組合員アンケート2024・広報誌「あおば」を活用した准組合員アンケートなどを実施し、組合員・地域の皆さまからいただいたご意見・ご要望を事業活動に反映させる取り組みを行ってまいりました。引き続き、年度末まで、計画達成に向けて実践して

まいります。

令和7年度は新たに「第10次中期経営計画(農業振興計画含む)」令和7年度・令和9年度」の初年度となります。現在、JA役職員、地域振興委員ならびに各組織協議会代表者にご意見をいただきながら、計画の策定に取り組んでいます。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、令和7年が組合員・地域の皆さまにとって光り輝く年となりますことご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



井之口 喜實夫

(谷原2・3支部)



JA東京中央会功労表彰

吉村 敦子

(職員表彰)

小澤 夕香

(職員表彰)

由利 布美子

(職員表彰)



第53回東京都農業祭
農畜産物共進会上位入賞

上位入賞者の皆さまをご紹介いたします。(敬称略)

【技術・ほ場の部】

東京都知事賞

井之口 喜實夫

(キャベツ)



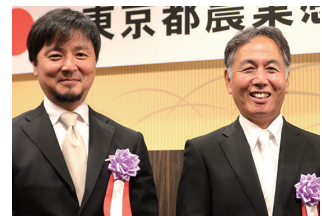
【産物の部】

東京都知事賞

田中 聖晃

(キャベツ)

莊埜 晃一(カキ)



03
NEWS

各農業祭で農畜産物の共進会・品評会が開催されました。

11月に「第47回板橋農業まつり」・「第27回JA東京あおば農業祭」で農業技術の向上等を目的に農園芸畜産物の共進会・品評会が開催されました。今回は上位入賞者の皆さまをご紹介します。(敬称略)

第27回 JA東京あおば農業祭

【農園芸畜産物品評会の部】

東京都知事賞

井口 良男

(キャベツ)

東京都産業労働局長賞

田中 理瑛

(ハクサイ)

荘埜 晃一

(カキ)

板橋区長賞

木村 繁夫

(ダイコン)

練馬区長賞

櫻井 祐次

(サトイモ)

山口 卓

(中玉トマト)

吉田 照男

(ハボタン)

【果樹栽培技術共進会の部】

練馬区長賞

荘埜 晃一

(イチジク)

第47回 板橋農業まつり共進会

【蔬菜の部】

区長特別賞

木村 繁夫

(ダイコン)

区長賞

萩野 耕一

(ミニハクサイ)

田中 耕太郎 (ニンジン・キャベツ)

田中 宏幸 (ブロッコリー)

田中 将浩 (カブ・中玉トマト)

農業委員会会長賞

石井 隆弘

(ダイコン)

JA東京あおば組合長賞

會田 幸夫

(ホウレンソウ)

【園芸の部】

区長特別賞

杉田 秀昭

(五葉松)

区長賞

松澤 智昭

(シクラメン寄せ植え)

農業委員会会長賞

松澤 智昭

(秋の寄せ植え)

JA東京あおば組合長賞

杉田 秀昭

(木瓜「東洋綿」)

【果樹の部】

区長特別賞

榎本 藤二

(カキ)

区長賞

岡田 キク

(カキ)

榎本 勇

(レモン)

農業委員会会長賞

坂本 健

(ミカン)

JA東京あおば組合長賞

安井 芳一

(カキ)

【志村みの早生大根の部】

区長特別賞

田中 耕太郎

区長賞

木村 繁夫

農業委員会会長賞

木村 博之

JA東京あおば組合長賞

稲垣 和男

受賞された皆さま

おめでとーございます。

04
NEWS

経済的支援世帯に野菜などを寄付

板橋区と板橋区社会福祉協議会は11月10日(日)、下赤塚地域センターで、経済的支援が必要となり親世帯、多子世帯などに、「野菜宝船」や同月9日(土)、10日(日)に行われた第47回板橋農業まつり共進会に出品した野菜を配りました。野菜宝船は同農業まつりに合わせ、JA東京

事前に応募のあった170世帯分の野菜などを用意し、同区の民生・児童委員が配りました。同協議会の職員は「子どもたちが嬉しそうに野菜を受け取っている様子」が印象的。地元で採れた野菜に興味を持つきっかけにもなる。区内農家や、JAに感謝したいと話しました。

06
NEWS

第1期JA東京あおばカレッジ卒業記念旅行で沖縄訪問

第1期JA東京あおばカレッジ卒業生8人は10月9日(水)から3日間、卒業記念旅行として沖縄本島を訪れました。初日に、姉妹提携JAであるJAおきなわ宜野湾支店を訪問し、女性部役員やJA職員らと意見を交わしました。その後、JA直売所「ちゃんぷる」市場を視察し、品数の多さに圧倒されました。事務局として随行した地域振興部本橋章宏部長は「JAおきなわ女性部との意見交換もでき、有意義な訪問となりました。今後も、姉妹提携JAとして交流を続けていきたい」と話しました。

JAでは、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の重点施策として次世代の組合員リーダーの育成を掲げており、同カレッジは

石神井地区青壮年部・そ菜部営農研究会は10月7日(月)、埼玉県深谷市にある「ネギ参謀」を視察しました。部会員13人と練馬地区青壮年部有志6人が参加し、ネギの栽培管理や雑草防除、育苗のポイント、施肥や土壌改良資材などを学びました。

ネギ参謀とは株式会社社小池勝次郎商店が運営するネギ栽培全般の

相談サービス。近年、当JA管内でもネギの栽培が増えています。同時に高温による生育不良や栽培管理における情報不足も課題でした。ネギ参謀ではこれら生産者の悩みを解決でき、かつ有益な情報を提供してもらえます。

参加者からは「非常に勉強になりました。目からうろこの情報ばかりで実践してみたい」と好評



JAでは、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の重点施策として次世代の組合員リーダーの育成を掲げており、同カレッジは



07
NEWS板橋地区女性部 フレッシュ
ミズ組織と合同で講習会開催

板橋地区女性部は10月24日(木)、フレッシュミズ組織と合同で寄せ植え講習会を開き、23人の部員らが参加しました。板橋区の花農家である松澤智昭さんが講師を務め、花を愛でる喜びや植物を育てることの価値について映像を使って説明しました。

09
NEWS

練馬地区女性部文化展開催

今回は室内向けの寄せ植えをテーマとし、ミニアンズリウムや観葉植物などリビングをオシャレに彩ってくれる育てやすい植物を用意してもらい、植え方や水やりのポイントなど丁寧に説明を受けながら作業しました。

練馬地区女性部は10月30日(水)、31日(木)の2日間、練馬春日町支店で文化展を開催し、部員32人が300点を超す手作りの作品を出品しました。手芸や絵手紙、陶芸、フラワーアレンジメントなどのほか、会場中央には地場産の野菜

と果物を使った「農の生け花」が飾られ、2日間で112人が来場しました。会場入口には、令和6年度能登半島地震災害支援の募金箱が設置され、多くの寄付金が集まりました。

「作り方を教えてほしい」など作品に興味を示していました。同部の加藤朝子部長は「女性部の一大イベントである文化展を開催することで、部員の活動成果が披露できてよかった」と話しました。

08
NEWS

JAおきなわ訪問団 受け入れ

姉妹提携しているJAおきなわの研修団4人が10月23日(水)、当JAを訪問し、意見を交わしました。同研修団は10月22日(火)から5日間、JA管内の畑や直売所、東京都農業祭の視察などを行いました。

姉妹JAの取り組みは1965年に旧練馬農業協同組合と旧宜野湾市農業協同組合が協定を締結したのが始まりで、両組合が合併を経た現在も、交流を深めてきました。受け入れを担当した総務部総務課由利布美子課長は「お互いのJAについて、いろいろな話ができて有意義な時間でした。今後も、交流を深めていきたい」と話しました。

10
NEWS

大泉地区女性部 NPO法人に寄付

大泉地区女性部は11月12日(火)、こども食堂などの活動を行うNPO法人ハッピーひろばお茶家ころころに、地場産野菜と生活用品を寄付しました。

この活動は令和3年度よりSDGsの取り組みや福祉活動の一環として始められました。7月と11月の年2回、地場産農産物などを寄付しています。当日は、野菜レシピや長期保存の方法などの意見交換も行いました。



同部の鈴木由利部長は「女性部員みんなの協力でたくさん野菜や生活用品が集り感謝しています。子どもたちにも笑顔が届けられるように今後も活動を続けていきたい」と話しました。

12
NEWS

田柄中学校2年生 職場体験受け入れ

JA東京あおばグループの子会社である東京協同サービス株式会社は11月28日(木)から2日間、練馬区立田柄中学校2年生2人を職場体験学習で受け入れました。生徒の受け入れは今回が初めて。

JA東京あおばグループの子会社である東京協同サービス株式会社は、同JA管内の不動産事業を手掛けており、練馬区・板橋区を中心に賃貸物件の管理・資産活用相談等を行っています。

職場体験の目的は「働くことの意義」を考え、規律と協力の大切さを学び、自分の将来や進路を現実的に考えるきっかけにするもの。体験内容は賃貸募集の際の写真撮影、パソコンと専用ソフトを使って図作成、インターネット募集ページおよび広告チラシの作成、内見のロールプレイ、職員室から先生とオンライン内見などでした。

職場体験に参加した生徒らは「不動産業に馴染みがなかったが、いろいろな仕事があることを知った」「大変なこともあったが、楽しかった」と話し、好評でした。

11
NEWS

平和台支店新店舗オープン

10月21日(月)、平和台支店が新店舗にてオープンしました。開店前のオープニングセレモニーでは、久保秀一組合長をはじめ、練馬地区の非常勤理事らがテープカットを行いました、新店舗のオープンを祝いました。

同支店の和賀井高志支店長は「地域に根差し、お客様から末永く親しみをもってもらえる店舗をめざします。引き続き、職員一同頑張ります」と話しました。



同社平和台支店の小名康敬支店長は「生徒たちははじめ、緊張していたが、しっかりと話を聞いてくれた。今後も、交流を深めていきたい」と話しました。



特集

第18回 練馬大根引っこ抜き競技大会開催

レッツ
準備体操!

今年のおも
練馬大根

地元農家
渡戸秀行さんによる
抜き方レクチャー

練馬地区
青壮年部の
新鮮野菜販売!

抜けないヨー

家族で
パシャ!

白熱の
決勝戦!

ミニレポート! 練馬区立高松みらいのはたけ

親子で練馬大根栽培体験

練馬大根引っこ抜き競技大会の会場となった練馬区立高松みらいのはたけでは、親子40組が、「練馬大根」栽培体験コースに参加しました。このコースは、種まきから収穫までの農のサイクルを知ってもらうためのイベントです。

コースは全3回で、9月に種まき、10月に間引き、11月に収穫を体験しました。

体験前には、JA職員が各コースの内容に合わせてミニ講座も行いました。収穫の際には、一般的に流通している青首大根と違って中太りしているため抜にくいことや足の力を使って抜くコツなどを話しました。参加者は、自分で種まきした区画で約10本の練馬大根を収穫し、農業の大変さや収穫の喜びを感じていました。

希望者は、他区画でもボランティアとして種まきを行い、その練馬大根は競技大会に使用されました。

結果発表

今回の大会には、選手権の部に125人、グループの部に59組246人の合計371人が競技に参加しました。制限時間内に抜いた本数を競う選手権の部では、男性の部で22本を抜いた江口崇さん、女性の部で20本抜いた玉利奈津樹さんが優勝しました。長さを競うグループの部では、91cmを抜いた小林祐博さん、ならびに高橋正樹さんのグループが同率で優勝しました。地域の皆さまのご協力により、大盛況のうちに閉会することができました。

※結果については
当JAホームページにも
掲載しております。



9月上旬

種をまく
子どもたち



間引きかな

10月上旬



11月下旬

収穫!!

売れる直売所に向けた運営体制強化

売れる直売所に向けて、地区特産品であるアスパラ・ウド・果樹等の積極的な買取を行い、各直売所で販売しました。直売所統一イベントとして、7月、11月に「直売所フェスタ」を開催し、地場産農産物の販売に加え、抽選会等も行いました。

また、生産者の販売拡大を目的に、大型スーパーとの取引を開始し、外販をすすめました。



食と農を通じた豊かでくらしやすい地域づくり

「練馬区立高松みらいのはたけ※」で、エダマメ・トウモロコシ・練馬大根などを種まきから収穫まで一連の体験を行う「体験コース」を設定し、多くの方にご参加いただきました。(参加者数：1,962人)

12月には同園で「第18回練馬大根引っこ抜き競技大会」を開催し、収穫されたダイコンは翌日以降、練馬区内小中学校で学校給食食材として利用されました。

※「農の景観を区民とともに育て・守る畑」をコンセプトに当JAが練馬区から委託され管理し、農にふれあえるイベントを行っています。



第2の柱「組織基盤戦略」

— 対話運動を通じた組合員とのつながり強化 —

組合員(正・准)との対話運動の展開

支店渉外担当者・地域振興渉外担当者による日常的な訪問活動を強化したほか、支部長会議、組合員座談会を各地区開催しました。また、組合員の皆さまを対象に、「組合員アンケート2024」ならびに、広報誌「あおば」を活用した准組合員アンケートを実施し、多数のご回答をいただくことができました。いただきましたご意見やご要望は事業活動に反映するとともに、第10次中期経営計画(農業振興計画含む)に反映させていただきます。



次世代の組合員リーダーの育成

次世代の組合員リーダーの育成を目的とした第1期JA東京あおばカレッジは、全11回のすべてのカリキュラムを終え、7月31日(水)、受講生8人の卒業式を執り行い、10月には卒業記念旅行(沖縄)に行き、受講生同士の思い出が深まりました。

令和7年10月の第2期開講に向け、準備をすすめています。



JA東京あおば

JAってこんなことをやっています!

令和6年度 これまでの取り組みのご報告

(令和6年11月末日現在)

当JAでは、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)ー令和4年度～令和6年度ーにおいて、3つの戦略「持続可能な都市農業の確立」、「対話運動を通じた組合員とのつながり強化」、「経営基盤の強化・人材育成」を基軸に、JA東京あおばの自己改革に取り組むとともに、組合員皆さまのご意見・ご要望をJAの事業活動に反映しながら、組合員と共に歩む事業運営を行っています。

今回は、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の最終年となる令和6年度のこれまでの主な取り組みについてご報告いたします。

第1の柱「農業振興計画」

— 持続可能な都市農業の確立 —

農業者の所得増大に向けた 営農指導の強化

農業者の所得増大に向け、これまで以上に振興渉外の訪問活動を強化しました。作付け計画の提案のほか、農機修理・点検整備サービス利用拡大、農産物販売会場の提供及び、マルシェ等の支援に取り組みました。



支援等を行った主なイベント

- 4月 春季植木市[板橋区](4/19、20、21)
- 5月 春季植木市[板橋区](5/10、11、12)
- 6月 どこでもマルシェ in 関町支店(6/14)
田柄支店即売会(6/25)
- 7月 区役所マルシェ[練馬区](7/18)
※当JAは夏野菜を出店
- 8月 区役所マルシェ[練馬区](8/1)
※当JAはブルーベリーを出店
- 10月 秋季植木市[板橋区](10/5、6、7)
板橋農業まつり[板橋区](11/9、10)
JA東京あおば農業祭[練馬区]
(11/16、17)
ねりマルシェ[練馬区](11/24)

JA東京あおばの自己改革工程表 (令和6年11月末実績)

重点施策		成果指標・計画値			
都市農業の振興【農業者の所得増大】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
マルシェ等農産物販売会の支援		実績	実績	計画	実績
対象者: 青壮年部員等	想定: 売上増加効果	10回	3回	17回	16回
3年間合計: 30回	1団体売上 15万円増/回	(支援29回)	(支援27回)		
肥料・農薬を除く生産資材共同購入の実施		実績	実績	計画	実績
対象者: 農業者	想定: コスト低減効果	4品目	10品目	4品目	98品目
3年間合計: 10品目	1品目あたり平均10%低減	(平均11.4%低減)	(平均15.3%低減)		
買取販売方式の導入		実績	実績	計画	実績
対象者: 直売所出荷者	想定: 売上増加効果	令和3年度対比	令和3年度対比	令和3年度対比	令和3年度対比
各年度前年比10%増加	買取販売品売上高 前年比10%増	17.2%増加	29.0%増加	30.0%増加	1415.4%増加

NEXT AOBA PJ(ネクストアオバプロジェクト)による若手職員の育成

部署横断的な若手職員10人による「第3期 NEXT AOBA PJ」が発足し、若手職員の持つ、新鮮な発想で現場目線のアイデアや意見を経営に取り入れることを目的としています。プロジェクトの取り組みテーマは「協同活動の実践」。協同活動について知識を深めることや職員同士のつながり強化を目的とした「NEXTの部屋」を8月24日(土)に開催しました。NEXTの部屋では、入組2年～7年目の若手職員が参加し、協同活動の意義や事例を学びました。今後は直売所出荷者を紹介するタブロイド紙を作成していきます。



人づくり・人財育成【組合員・職員教育】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
次世代の組合員リーダーの育成		実績	実績	計画	実績
JA東京あおばカレッジの開講・運営	3年間合計:12回	4回	6回	2回	2回
組合員から頼りにされる専門性の高い職員の育成		実績	実績	計画	実績
FP2級	3年後:渉外担当者取得率80%	21.5%	35.3%	80.0%	38.4%
相続アドバイザー 2級	3年間合計:20人	0人	1人	19人	0人 (試験日:令和7年3月2日予定)
営農指導員	3年後:新規取得6人	2人	3人	2人	2人
宅地建物取引士	3年後:新規取得6人	4人	0人	2人	3人

経営基盤の確立・強化		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
支店再編方針に基づく第1期・2期支店再編計画の実践		実績	実績	計画	実績
令和6年度	14支店を9支店へ集約	13支店	10支店	10→9支店	10支店
売れる直売所に向けた運営体制強化		実績	実績	計画	実績
令和6年度	令和3年度対比(3年後:10%増加)	6.4%減少	4.6%増加	10.0%増加	16.8%増加
農業資金をはじめとした各種事業資金等の積極的な展開		実績	実績	計画	実績
令和6年度	融資残高の伸長(3年後:1,660億円)	1,576億円	1,631億円	1,660億円	1,642億円
組合員・地域の皆さまのニーズに応じた、金融商品の提供		実績	実績	計画	実績
令和6年度	貯金残高の伸長(3年後:5,150億円)	5,112億円	5,029億円	5,050億円	4,870億円

「第10次中期経営計画(農業振興計画含む)ー令和7年度～令和9年度ー」に向けて

今回は、当JAの主な取り組み(11月末までの途中経過)をご報告いたしました。令和6年度も残すところ僅かになりましたが、役職員一同計画達成に向けて実践してまいります。

また、令和7年度は第10次中期経営計画(農業振興計画含む)が始まります。現在、JA役職員、地域振興委員ならびに各組織協議会代表者にご意見をいただきながら、計画の策定に取り組んでいます。

今後も組合員の皆さまとの対話運動を通じてよりよい事業運営ができるよう務めてまいります。

● JA東京あおばは、組合員・利用者皆さまの声を誠実に受け止めます。 ●

JA東京あおばでは、組合員・利用者皆さまにご満足いただけますよう日頃から心がけておりますが、当JAの事業・活動について、ご意見ご要望等がございましたら、下記の窓口にて受け付けておりますので、お気軽にお申し出ください。

経営企画部 経営企画課 TEL.03-5372-1312

受付時間 月～金曜日(土日祝日を除く) 午前9時～午後5時



● 当JAに関する情報はこちらのホームページでご覧になれます。 <https://www.ja-tokyoaoba.or.jp/> 検索 JA東京あおば ●

協同組合運動を促進する広報活動の展開

広報誌「あおば」は、都市農業・当JAの魅力を発信し、組合員・地域の皆さまとの対話ツールと位置付け、11月末までに3回発行しました。特に、読書の皆さまからのご意見などをもとに、紙面の内容・構成・文字の大きさや見やすさを改善してまいりました。今後も、組合員・地域の皆さまからのご意見・ご要望を紙面に反映してまいります。また、今年度より「ショート動画」を作成し、都市農業の魅力を発信することや地域農業のファンづくりにつながる広報活動を展開してまいります。



組合員とのつながり強化【対話:訪問活動】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
組合員(正・准)との対話運動の展開		実績	実績	計画	実績
組合員(正・准)加入運動の実施	3年後:組合員総数29,000人	27,316人	27,211人	29,000人	26,940人
農業者訪問活動	対象農家:550戸(令和3年度基準)	502戸	449戸	全戸	214戸

● 第3の柱 「経営基盤戦略」 ●

ー経営基盤の強化・人財育成ー



事業運営の見直しによる効率化・合理化

支店再編計画に基づき、今年度は平和台支店と桜台支店を令和7年2月に統合予定です。平和台支店新店舗は10月21日(月)にオープンしました。



人財育成・活力ある職場づくり

専門性の高い職員の育成により「何かあったらすぐJA」と組合員・地域の皆さまから「頼りにされる職員」をめざし、職員一人ひとりが働きがいをもてる、活力ある職場づくりに取り組んでいます。

※右表は「11月末現在における主な資格合格者数」を記載しております。(この他にも数多くの資格取得をしています。)

資格名	合格者
CFP・1級FP技能士	1人
AFP・2級FP技能士	10人
個人情報取扱主任者	21人
金融AMLオフィサー(実践)	33人
金融AMLオフィサー(基礎)	25人
内部管理責任者(証券外務員)	18人

令和6年度合格者数(11末日現在)(パート職員や嘱託員職員含む)



お茶目な隆弘さん



受賞された見事なダイコン



青々と茂る葉物野菜



笑顔で採れたてダイコンを販売



近所に人気の庭先販売所



今日も地域に
おいしい野菜を
届け続けている

農の現場

都市農業の未来を探る

111

板橋区・徳丸

石井 隆弘さん

「サラリーマン時代は大変でした」そう話すのは、板橋区徳丸の石井隆弘さん(42)。代々続いている畑を継いで今年で就農9年目を迎える。学校を卒業してから、自動車会社に勤務し、長年、整備士や営業の仕事に就いていたという。「全く農業を継ぐ気はなかったし、父も不動産業が本業」と話す隆弘さんは、祖父が他界し、後継者がいないことなど、代々受け継いでいる畑を途切れさせないために就農を決意した。約15アールの畑は隆弘さんが主にひとりで営んでいるが、早朝や不動産業の傍ら、お父さんも手伝っている。

そこでは、キャベツ、長ネギ、ニンジン、ダイコン、トウモロコシ、ラッカセイ、サツマイモなど多品目にわたり栽培し、JA直売所を主に、飲食店や庭先販売、区の要請がある場合は、学校給食にも出荷している。特に、キャベツ(しずはま)とダイコンは石井家自慢の一品。11月の第47回板橋農業まつり共進会では、ダイコンで農業委員会会長賞を受賞した。出荷は不定期だが、いつもご近所のファンからは「今度はいつ出荷するの?」と声をかけられるという。庭先販売所に出荷すると1時間もいないうちに完売してしまい、隆弘さんの心を込めて育てた農産物をご近所に愛されていることがうかがえる。

隆弘さんは、農業関係の学校を卒業したわけではなく、ほぼ独学で農業の知識を得て、現在のおいしい野菜作りを確立してきた。「インターネットにはなんでも載っていますよ!」と、落ち着いて話す口調の裏には、この9年間でたくさんの方の失敗や苦労、試行錯誤があり、相当の努力をしてきたと感じた。

「夏の暑さは尋常じゃない。最近では、空調服ができてだいぶ助かっている。体を壊さず、元気に健康で長く続けられることが第一」と話す隆弘さん。都市農業ならではの苦労や気遣いも経験してきた。庭先販売の無人販売では、現金ごと盗まれたり、住宅街に畑の土ぼこりが立つので、その対策を施したり、畑の傾斜面に草が覆い茂ると子どもたちの目に入るおそれがあり、草刈りも欠かせないのだという。

そんな抜かりない気遣いをする隆弘さんに、農業の楽しさについて聞いてみた。「サラリーマン時代と比べ、農業は自分の考えや自分のペースでできる。結果はすべて自分の責任だが、とても楽しくやりがいがある」と、自然体で語る姿に隆弘さんの性格が表れている。前職での仕事の進め方で苦労を経験しているからこそ、現在のご自身の農業が確立されているのだと改めて感じた。

農業の道を歩み進めて9年が経ち、地域に根差し地元の方々から愛される存在となった隆弘さん。インターネットから最新の技術を活用し、自分のスタイルで、今日も地域に美味しい野菜を届け続けている。

1月に種をまいて4月に収穫

栽培畝の準備

ダイコンは春まき、秋まきが一般的ですが、冬まきで春収穫という作型もあります。それはちょっとしたコツをクリアしないと実現しません。ダイコンは気温5℃以下が続くと花芽が分化※します。そのままにしておくと春暖かくなる頃、「とうだち」と言って花茎が伸びて花が咲いてしまいます。そうなるとう下のダイコンは太りません。ではどうするか？

※分化…単一であったものが複雑化したり異質化したりしていく様子。
※晩抽性…温度や日長の影響を受けにくく、花芽がつきににくい性質の植物。

ポリトンネルをかけて昼間の気温を25℃以上にする、分化した花芽が消滅します。ポリフィルム1枚の被覆で



種をまいたら発芽まで不織布をかけて保温します

畑はよく耕し、1㎡あたり、堆肥を5kg、ボカシ肥料を300g、草木灰かそれに変わるもの（牡蠣殻石灰や炭化有機など）100gを入れて、表層に混ぜ合わせます。幅70cmの畝を立てマルチを張ります。マルチは穴あきの9515が適しています。9515は穴が5列あり、15cm間隔に開いたもので便利です。

種まき

ダイコンは畝に2列栽培します。1穴に3粒まきます。一つの方法は5列のうち2番目と4番目の列に種をまく方法です。もう一つ私の方法は両端1番目と5番目の列にダイコンをまく方法です。その場合、トンネル支柱

は畝幅より広くします。さらに中央の3列目にコマツナを15cm株間でまいて混植するのがおすすめです。先にコマツナが採れ、その後ダイコンの葉が畝全体に広がります。ダイコンの株間は一般的には30cmですが、フクダ流では15cm株間で隣り合った全部の穴にまきます。ダイコンの本数は倍取れます。

種をまいたら、不織布をマルチの上にベタがけして保温した上に幅210cmのユーラックカンキなどの穴あきポリトンネルを張ります。トンネル支柱は長さ240cmのダンポールなどが便利です。風で飛ばされないようにしっかりと固定します。



栽培中ずっとポリトンネルで覆い昼間の温度を上げて花芽分化を消滅させます



2月には中央のコマツナが収穫になります。その後ダイコンの葉が広がります

15cm株間の場合は間引きが重要

発芽後、不織布は取り除きます。一般的な間引きは2〜3回に分けたりしますが、密植なのでダイコンの本葉があまり大きくならないうちに早めに間引きをします。その時に双葉が畝に直角に開いたものを1本残すようにします。なぜかというと、ダイコンには根から側根が2方向に出ます。側根の方向と双葉の方向は同じなのです。双葉が畝に直角なら、側根も直



間引き時には双葉が畝に直角に開いたものを残します。双葉の方向と側根の方向が同じで隣り合った側根が競合しなくなります

途中の管理

寒い時期でもトンネル内が暖かくなるとアブラムシなどが発生することがあります。よく観察して手遅れにならないように対処します。

収穫

4月になってダイコンが太り始めたら順次収穫します。みずみずしい春ダイコンが収穫できます。品種によつては4月後半になるととうだちするものもあります。しかし、その頃には地下のダイコンはできているので食べることができます。



品種名「おてごろ大根2号」



品種名「貴賞（たかほまれ）」



4月には15cm間隔でもダイコンは揃って太ります



ふくだ とし
福田 俊

プロフィール
1972年 東京農工大学農学科卒。
2005年 協和種苗(株)退職。
2011〜2022年 東京農業大学グリーンアカデミー講師。
サラリーマン時代より貸し農園での野菜づくりを研究。
2012年〜 「日本農業新聞」で「フクダ流」を連載中。





RECIPE

2

ダイコンの あまからステーキ

材料2人分

ダイコン ……12cm分(400g)
カイワレダイコン ……適量
ごま油 ……小さじ2

A しょう油 ……大さじ1
砂糖 ……小さじ1

作り方

- ①ダイコンは皮を厚くむいて1.5cm幅に切り、両面に格子の切り目を入れる。
- ②耐熱容器に入れてラップしてレンジで4分加熱し、裏返して更に4分加熱する。
- ③熱いうちにAを絡めて、粗熱を取り、味を染み込ませる。
- ④フライパンに油をいれて、汁気をきったダイコンを並べて焼く。
- ⑤裏返して両面に焼色がついたら取り出して器にもる。
- ⑥カイワレダイコンを添える。

これまでご紹介したレシピを
JA東京あおばのホームページ
に掲載しています。▶▶▶



プロフィール

豊島区(JA東京あおば管内)に生まれ育った料理研究家。料理研究家の祖母・故村上昭子氏、母・杵島直美氏という家庭に育ち、幼い頃から料理に親しむ。母のアシスタントを務めた後、独立。伝統の味を継承しながらも、若い男性の感性を生かしたレシピが大人気。NHK「きじまりゅうたの小腹すいてませんか?」「あさいち」きょうの料理」など多数メディアに出演中。

練馬といえば「ダイコン」

こんにちは!きじまりゅうたです。

今回は、レシピ豊富な「ダイコン」。練馬は全国的にも「練馬大根」で有名ですね。大根おろしを使った「練馬スパゲティ」は学校給食の人気メニューです。読者の皆さんにおいても、なじみがある方もいるのではないのでしょうか。

今回ご紹介するのは、「手羽元とダイコンのオイスター煮込み」と「ダイコンのあまからステーキ」です。冬の時期に体が温まる料理で、気軽にできるレシピです。ぜひご家庭でもお試しください。



KIJIMA RYUTAS
RECIPES

きじまりゅうた
あおばの台所



VOL.27
ダイコン

RECIPE

1

手羽元と大根の オイスター煮込み

材料2人分

ダイコン ……1/2本(600g)
手羽元 ……6本

A オイスターソース ……大さじ2
しょう油 ……大さじ1
砂糖 ……大さじ1

作り方

- ①ダイコンは皮を厚くむいて5~6cm幅に切り分けて4つわりに切り、軽く面取りする。
- ②鍋にダイコンと手羽元をいれてかぶるくらいの水(400ml目安)を注いで火にかけて、沸騰したらアクを取りフタをして弱火で7~8分煮る。
- ③Aを加えて、一度火を止めて粗熱を取る。
- ④再度火にかけて煮汁が少なくなるまで10分ほど煮る。



桜台支店 ご利用のお客様へ

継承店舗のご案内

令和7年2月25日(火)より、
全ての業務を平和台支店へ統合し、営業いたします。

令和7年2月21日(金)の午後より、
窓口・ATMは休止となります。

窓口	正午まで営業	9:00より平和台支店で営業
2月21日(金)	2月22日(土)	2月23日(日)
2月24日(祝)	2月25日(火)	
ATM	正午より休止	終日休止
2月21日(金)	2月22日(土)	2月23日(日)
2月24日(祝)	2月25日(火)	
	8:45よりご利用可能	

スマホアプリから、口座残高がすぐ確認できる。
JAバンクアプリ
アプリのダウンロードはこちらから
<https://www.jabank.org/app/>

JA東京あおば



廃止店舗 桜台支店

桜台支店ご利用のお客様へ

令和7年2月21日(金)の正午までの営業となります。ただし、ATMは令和7年2月25日(火)午前8時45分より当面の間、平和台支店のATMとしてご利用いただけます。

職員一同
お待ちしております。

身近に見！新鮮！庭先お買い物MAP

本企画は庭先直売所を紹介するコーナー。ぜひ身近に感じてお出かけください！



1 渡戸農園 (渡戸 章さん)

住所 平和台4-8-8
時間(目安) 10:00 ~ なくなり次第終了
販売品目 コマツナ、ホウレンソウ、エダマメ、トウモロコシ、練馬大根など30品種



JA直売所 ふれあいの里

住所 練馬区桜台3-35-18
電話 03-3991-8711
営業時間 10:00 ~ 17:00
休業日 火曜日(祝日は営業)

新鮮な地場産農産物をはじめ、季節の花苗・植木・園芸用品・お米を販売しております！皆さまのお越しをお待ちしております！



2 ファーム渡戸 (渡戸 秀行さん)

住所 平和台3-27
時間(目安) 9:30 ~ なくなり次第終了
販売品目 ダイコン、ニンジン、コマツナ、ホウレンソウ、ナス、トマト、トウモロコシ、エダマメ、カキなど



4 山本農園 (山本 文夫さん)

住所 早宮3-19-14
時間(目安) 10:00 ~ なくなり次第終了
販売品目 サトイモ、ホウレンソウ、キャベツ、キュウリ、トマト、ナス、カブ、ダイコンなど



3 加藤農園 (加藤 朋乃さん)

住所 早宮4-3
時間(目安) 13:00 ~ なくなり次第終了
販売品目 エダマメ、キャベツ、キュウリ、サトイモ、タマネギ、ダイコン、ハクサイ、ブロッコリー、ホウレンソウ、カブなど
※販売は不定期で、不定休となりますので、ご注意ください。



5 浅見農園 (浅見 喜代司さん)

住所 桜台3-7-12
時間(目安) 不定期販売 ※ご希望の方は農園へお問合せください。
販売品目 ブルーベリー



税務・法律相談のご案内

お気軽にご相談ください

無料予約制 ご予約は各相談日の前営業日の午後3時までとさせていただきます。
※相談日が祝・祭日の場合は、店舗にお問い合わせください。

練馬春日町支店

税務相談
ランドマーク税理士法人
毎週木曜日/9時~12時
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第2金曜日/9時~12時
所在地 練馬区春日町1-17-34



TEL.03-3999-1451

石神井支店

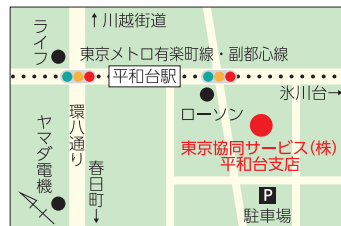
税務相談
鈴木一郎公認会計士事務所
毎月第2火曜日/13時~16時
ランドマーク税理士法人
毎月第3火曜日/13時30分~15時30分
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第2火曜日/13時~16時
所在地 練馬区石神井町5-11-7



TEL.03-3995-4121

東京協同サービス(株) 平和台支店

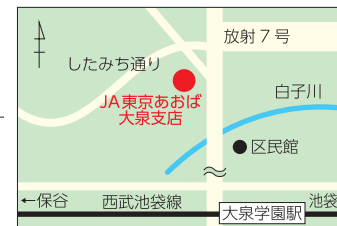
税務相談
鈴木一郎公認会計士事務所
毎月第1・第4土曜日/9時~16時
所在地 練馬区早宮2-17-50 平和台S TビルⅡ



TEL.03-3931-6051

大泉支店

税務相談
鈴木一郎公認会計士事務所
毎月第2火曜日/9時~12時
ランドマーク税理士法人
毎月第3火曜日/13時30分~15時30分
法律相談
深沢総合法律事務所
毎月第3火曜日/9時~16時
所在地 練馬区大泉学園町2-12-17



TEL.03-3925-3111

読んで、アンケートに答えて すてきなプレゼントをもらおう!!

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。

※クロスワードの解答は任意です。



プレゼント応募締め切り2月28日(金)必着

読者プレゼント

- 1 各支店の窓口ポストに応募用紙投函(無料)
- 2 85円切手を貼って郵送
- 3 専用webフォームからも応募できます▶▶

応募要項

氏名・ふりがな・年齢・住所・電話番号・取引支店名・J Aと本誌へのご意見や感想、地域の話、楽しいお話、俳句など、自由にお書き添えのうえ応募ください。なお、ペンネーム、匿名を可としますが、本名の明記を必ずお願いします。抽選で5名様にプレゼントいたします。

個人情報等の取り扱いについて

ご応募いただきました応募用紙等の個人情報・記載内容は、当JA広報活動の目的以外では使用いたしません。



プレゼント

農協マヨネーズと伊予のみそを
セットでプレゼント!



農協マヨネーズ 300g
伊予のみそ 600g

在庫状況により一部商品が変更となる場合がございます。予めご了承ください。

5名様



follow me

直売所の最新情報は
Instagramでも発信中!!

JA東京あおば
(jatokyoaoba)



とれたて村石神井
(toretatemurasyakujii_aoba)



ふれあいの里
(fureainosato_aoba)



板橋地区
アグリセンター
(itabashi_agri_aoba)



練馬地区
アグリセンター
(nerima_agri_aoba)



ファーマーズショップ
にりん草
(nirinsou_aoba)



ファーマーズショップ
こぐれ村
(koguremura_aoba)



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は元日に能登半島地震が発生したほか、全国各地で大規模な自然災害が相次ぎました。夏場の記録的高温も自然災害の1つではないでしょうか。当JA管内でも秋冬野菜の生育に影響が生じる事態となりました。そうした厳しい状況下にも関わらず、直売所は色とりどりの農産物を販売しています。生産者の皆さま、いつも新鮮でおいしい農産物をありがとうございます。

広報誌「あおば」では、農産物の生産だけではなく、小学校への出前授業や収穫体験の受け入れ、地域イベントなど地域活性化への貢献など幅広く活躍する組合員の皆さまを紹介していきます。今後も広報誌「あおば」をよろしく願いいたします。

(広報委員 加藤)

前号の答え

A B C D E
フ ユ ジ タ ク



たくさんのご応募
ありがとうございました。

当選者はプレゼントの発送をもって
発表にかえさせていただきます。

読者のひろば

感謝デーでいた
だいたお花を毎
年、大事に育て
ています。

from
T.I さん

桜台支店

都市農地を守り、周辺住
民への新鮮な農作物の提
供などに尽力されることを
願っています。

from M.H さん

平和台支店

田舎まんじゅう
を月1回ぐらいは
販売してほしい!

from K.M さん

練馬春日町支店

直売所に野菜以外
(肉、魚など)も
販売されて便利に
なりました。

from T.S さん

石神井支店

銀行と違って身近な存在
に感じます。

from N.A さん

関町支店

すこやか定期貯金を活用
しています。

from S.O さん

田柄支店

窓口の対応が明るく優し
いときは、幸せな一日を
過ごすことができます!

from E.O さん

中村橋支店

支店での農産物の
販売を希望します。

from S.I さん

平和台支店

青壮年部、女性部、子ども
たちがいろいろなことを
考えて農業を、楽しみなが
ら続けていることがうれ
しいです!地場産農産
物最高です~!

from N.T さん

大泉支店

from T.M さん
芋掘りを
孫が手伝う
楽しさよ

赤塚支店

ご近所のJ A な
のでとても親しみが
あり利用させてい
ただいています。

from スモモちゃん

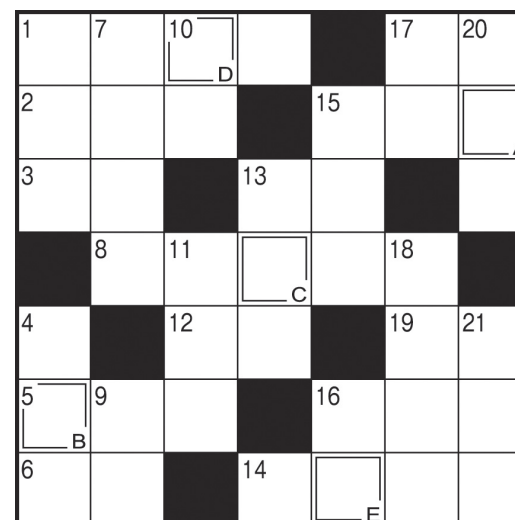
板橋支店



答えは次号で
お知らせダネ!



二重マスの文字を A~E の順に
並べてできる言葉は何でしょうか?



ヨコのカギ

- 1 宝船の絵を枕の下に入れておくとよいものが見られるとか
- 2 窓を開けて取り込みます
- 3 カード式のホテルもあります
- 5 中東の国のひとつ。首都はテヘラン
- 6 きねと臼でつくもの
- 8 「本の虫」と呼ばれることも
- 12 七草を入れて炊くことも
- 13 初詣で一年の——を祈った
- 14 「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- 15 マスカラを付けるところ
- 16 脊椎動物にはありません
- 17 「Rがつかない月には食べるな」といわれる貝
- 19 耳が冷えないようにイヤ——をつけた

タテのカギ

出題●ニコリ

- 1 年賀状をコレからSNSなどに切り替える人も増えました
- 4 サトイモの親芋のまわりにできます
- 7 コートなどに用いる毛織物
- 9 ここで話していても——があかないから見に行こう
- 10 しんとんと降り積もるもの
- 11 箱根駅伝は10——、計217.1kmで競います
- 13 さんずい、うかんむりなど
- 15 ほうきに掛けて飛べるとか
- 16 10を3回かけ合わせると
- 17 縁起をかついで食べる受験生もいます
- 18 おせち料理に入れる紅白の食材といえば
- 20 チャールズ・チャップリンは——の王様です
- 21 可燃ではありません



女性部活動紹介

大泉地区

こんにちは！私たち大泉地区女性部は、現在53人で活動しています。今回は主な活動内容を3つ紹介します。

まず、サークル活動としてよさこいを毎月2回ほど練習しています。大会で受賞歴のある優秀な先生が、初心者でも、何歳でも、踊ることができるように丁寧に指導して下さいますので、安心して参加できます。華やかなよさこいの衣装を着ながら、農業祭や地区祭など年に数回踊りの成果を披露しています！ぜひ一緒に踊りませんか？

2つ目は、農業祭やファーマーズショップこぐれ村でのイベントで、田舎まんじゅうを作っています！直売所のイベントでは赤飯を作ることも！イベントでは、すぐに完売するほど大人気で、出来立ての田舎まんじゅうや赤飯は格別です。部員のみなどで、仲良くわいわいお話ししながら心をこめて作っています。

最後に、年に2回「ティーパーティー」を開催しています。ティーパーティーは、地域の方も参加できるイベントで、手芸品の作成や料理教室などを行いながらお茶やコーヒーを飲み、親睦を深めています。内容は毎回違いますので、興味のある企画に自由に参加することができます。

その他にも、日帰り旅行やこども食堂への寄付活動など様々な活動をしています。ぜひ一緒に活動しませんか？

学ぼう。遊ぼう。
楽しもう。

新メンバー大募集!!

JA東京あおば女性部



問い合わせ先

JA東京あおば女性組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)

電話 :03-5910-3066 (平日 9時～17時)



青壮年部 活動紹介

～秋の主なできごと～



練馬地区
青壮年部



石神井地区
青壮年部



大泉地区
青壮年部



板橋農業まつり・JA東京あおば農業祭で青壮年部大活躍！

板橋地区青壮年部は、11月9日(土)、10日(日)に開催された第47回板橋農業まつりで使用する野菜宝船を製作しました！この宝船は、重量約1.5トンあり、ロープを引くことで動くのが特徴です。初日のオープニングパレードでは、赤塚体育館通りに宝船を観ようと多くの観客で賑わいました。



板橋地区青壮年部

また練馬地区青壮年部は、練馬地区花卉部会と合同で、11月16日(土)、17日(日)に開催された第27回JA東京あおば農業祭で展示される野菜宝船を製作しました。宝船は、イベントのシンボルとして会場を華やかに飾り、多くの来場者が写真に収めていました。

そして農業祭では、練馬地区、石神井地区、大泉地区の青壮年部が出店をしました！練馬地区青壮年部は、香ばしい焼きだんご、石神井地区青壮年部は、地場産のトウモロコシを使用したポップコーン、大泉地区青壮年部は、JA東京あおばPB商品の練馬野菜餃子、生ビールを販売しました。いずれの商品も好評で、2日間ともすべて完売するほどの盛況ぶりでした。

問い合わせ先

JA東京あおば青壮年組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)

電話 :03-5910-3066 (平日 9時～17時)